

明日へつなげる岐阜市の自然

自然ふれあい活動支援ワークショップ

第48号 平成19年12月発行

○はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。

このような状況の中、岐阜市の素晴らしい自然を市民・地域共有の財産として次世代へと引き継ぐため **市民と行政の協働による「自然ふれあい活動」**に取り組みます！！



金華山学習プログラムワークショップ

・現地資源確認ワークショップ（10月24日、31日、11月29日）

○現地資源確認ワークショップ

例年よりちょっと遅い秋の知らせが訪れた金華山を散策しながら、日々金華山の様子を見ている金華山サポーターズの川瀬さんや柴田さん、岐阜薬科大学の田中先生を語り部として、金華山の魅力をリストアップするためのワークショップを行いました。

金華山には、植物をはじめ眺望、岩、歴史資源など多彩なPRポイントが点在しており、どれを紹介しようか悩むほどです。植生について見ると、代表的なものとして**ツブラジイの林、ヒノキの林、コナラやアベマキの林**を見ることができます。それぞれには林内の明るさや樹の太さなどに特徴があり、場所ごとに多くの表情を見せてくれます。特にヒノキやスギには本当に大きなものがあり、圧倒されました。



金華山の自然資源を確認しながら
各登山道を歩きました



ヒトツバの群落



スギの巨木



ゴツゴツした
アベマキの樹皮



ヒノキの立ち枯れ



紙の原料になるガンピ



また、教えてもらわなければ見過ごしてしまうような目立たない樹木、ガンピも、紙の材料として非常に貴重なものであり、その紙から水うちわが作られるということを知ると、金華山と「長良川の文化」との繋がりも感じられます。

金華山はチャートの岩山で土壌が薄いので、ツブラジイの板根があちこちに見られます。

金華山を最も象徴する樹木「ツブラジイ」。その大木に目を向けると、そこにはチャートでできている金華山の性質によって生み出される「板根」という根っこの姿を見ることができます。ただ単に根が板状に成長していることを見るだけでなく「なぜ、そのような成長をするのか?」「チャートとの関係はどうか」という視点を持つだけでも、金華山の自然が深みを増して登山者に語りかけてきます。



この他にも、眺望ポイントから見る長良川の姿とその変遷、金華山内各所に見られる砦跡の石積の様子、萌芽更新によって成立した森林から見られる金華山と人との関わり、立ち枯れた天然ヒノキなど、それぞれが多くのもので繋がった物語を作り出し、金華山の積み重ねてきた歴史を物語っているように感じます。



このような数多くの資源の中から、金華山の最初の一步として是非見てもらいたいものを抽出して、学習プログラムの構成を考えていきたいと思えます。



○おわりに

金華山を見ていくと、本当に多くの物語が隠されており、その奥の深さはとても数回の登山では理解できるものではありません。金華山の物語を伝える手段として、どのようなものがあるのか、インターネットの使い方も考えながら、多くの方々に楽しんでいただけるものをつくりたいと思えます。

金華山からの眺望、石積から見る歴史、萌芽してできた森の姿から見る森と人との関わり。どれもがすばらしい情報です。

岐阜市自然ふれあい活動に関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 自然環境室 担当：吉村

TEL：058-265-4141（内線：6452） FAX：058-267-1374

E-mail：shizen@city.gifu.gifu.jp

自然環境室 HP アドレス：http://www.city.gifu.lg.jp/c/12050000/12050000.html